

令和4年度 三木市特定教育・保育施設評価 目標達成計画

(園所名) 社会福祉法人 白水会 よかわ認定こども園

<p>観点</p>	<p>①心の育ちを優先し、生きる力の基礎を育む教育・保育</p>
<p>項目</p>	<p>内 容</p>
<p>園の現状や取組、課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「遊びを通して心身共に健やかな育ちへ」をテーマに、子どもの主体性や心の成長につながる取り組みをしている。 ○ 友だちや保育教諭と一緒に心身ともに躍動する経験を重ねる中で 感じたことや考えたことを自分なりの表現や言葉で友だちと伝え合い、共に育ちあう心情意欲を育てていくことが課題である。 ○ 民間運営へと移管したが、子どもの心身の健全な発達と成長を継続的に見守る体制を構築していくことも課題である。
<p>目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「主体的に遊び心豊かにたくましく生きる基礎」培うことができるよう、これからを生きる力を育てる。 ○ 「遊びを通じた体幹づくり」を意識した保育を積み重ねながら、心身の育ちを支え、非認知能力を育む。 ○ 職員同士が連携してチームワークを強化し子どもたちが安定して過ごすことができるよう責任を持って教育・保育に取組、やりがいをもてるようにする。
<p>目標達成に向けた具体的な取組内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 心地よい場で意欲的に遊びたいと思える環境構成を整え、豊かな体験を通じて、知識・技能・の基礎、思考力・判断力・表現力等の基礎、学びに向かう力・人間性等を育む3つの柱と幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿を目指しながら、教育・保育を積み重ねていく。 ○ 研究保育や行事等の振り返りで、年齢毎の発達や育ちを職員間で共通理解する。 ○ 年齢別に3月末の姿「こんな子どもに育ってほしい」を明確化し、職員間で共通理解する。
<p>成果</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 4月から「遊びを通して心身共に健やかな育ちへ」をテーマに、子どもの主体性や心の成長につながる教育保育に取り組んできたことが、「運動会」や「2学期生活発表会」へとつながった。遊びのなかで、何事もできるようになるまであきらめずにがんばる姿、友だちを応援する姿、互いの意見を聞き、受け入れ、認め合いつつ調整していく力等、心の育ちが見えて来た。運動遊びを通して「こんなところが良かった」をテーマに職員研修をしたことで音楽会にむけての目指す子ども像や今後の教育保育内容について、職員間で話し合う場を設け、共通理解することができた。今後も研究保育や行事等の振り返りで、年齢毎の発達や育ちについて職員間での連携を密にし、共通理解しながら「こんな子どもに育ってほしい」という3月末の姿を明確化し、子どもの心身の健全な発達と成長を継続的に見守る体制を構築していく。
<p>評価</p>	<p>子どもの主体性と、心身の成長につながる教育保育に取り組まれたことが、子どもたちの自信にあふれた顔に出てきている。乳児は子どもたちが非常に落ち着いて生活できており、先生方が環境や関わりを丁寧に積み重ねてこられたことがわかる。2歳児は子どもの気持ちをしっかりと受け止めながら保育がなされている。3歳児は、運動をするにしても子どもの興味関心をうまく引き出しながら上手にやる気をもって活動できるようになっている。4歳児もサンタさんへの手紙などの活動を通して、一人一人の子どもたちの気持ちを受け止めながら思いやりや文字への興味関心を引き出している。5歳児は保育の集大成として自分の意見をしっかりと伝える子が増えてきており、お互いの意見を聞いたり認め合ったりする姿が見られ、心が育ってきているのがわかる。今後も目指す子ども像などを共有することで、質の高い教育保育を維持していただきたい。</p>